

●事業概要

●(主) 岡崎碧南線の電線共同溝整備事業の概要について

背 景

本路線を含む碧南市大浜地区は平成12年3月に国が指定する「歩いて暮らせる街づくり」のモデル地区に選定されたのを受け、平成14年3月に「大浜地区歩いて暮らせる街づくり」基本計画が策定されています。本計画において岡崎碧南線は優先的に歩行空間を形成する「重点歩行空間形成ゾーン」に含まれ、「てらまち散策コース」の1つとして高質空間の形成を図ることとしており、その対策の一つとして電線類地中化を行います。

目 的

岡崎碧南線は「てらまち散策コース」の一部として多くの方に利用されていますが、歩道が狭く段差があるなど利用者にとって安全で快適な歩行空間となっていない上、電柱が乱立しており景観的にも対策が必要です。そのため、歩道を整備すると同時に電線類を地中化し電柱を撤去することにより、安全かつ円滑な交通の確保と良好な景観を形成することを目的としています。

整 備 効 果

①安全で快適な通行空間の確保

電柱や電線類がなくなるので、道路の見通しがよくなり、信号機や道路標識が見やすくなるなど、交通の安全性が向上する。また、歩道が広く使えるため歩行者はもちろんベビーカーや車いすを利用する人にも安全で利用しやすいバリアフリーの歩行空間が形成される。また、火災時の消防活動や救急活動の支援となる。

・電柱が車いす等の通行の妨げとなっている歩道



・電柱が無く整備された歩道



②景観の向上

道路上に張り巡らされた電線類が道路の下に収められるため、美しい街並みが形成される。

・碧南市役所前の整備事例



③都市災害の防止

台風や地震などの災害時において道路上の電柱の崩壊や電線の切断等の危険がなくなる。

・阪神・淡路大震災



・東日本大震災



④情報ネットワークの信頼性の向上

高速通信ネットワークの収容空間を確保するとともに、電線類を地中化することにより地震などの災害が発生した時の被害を小さくし、電力、通信サービスの安定供給を確保できる。

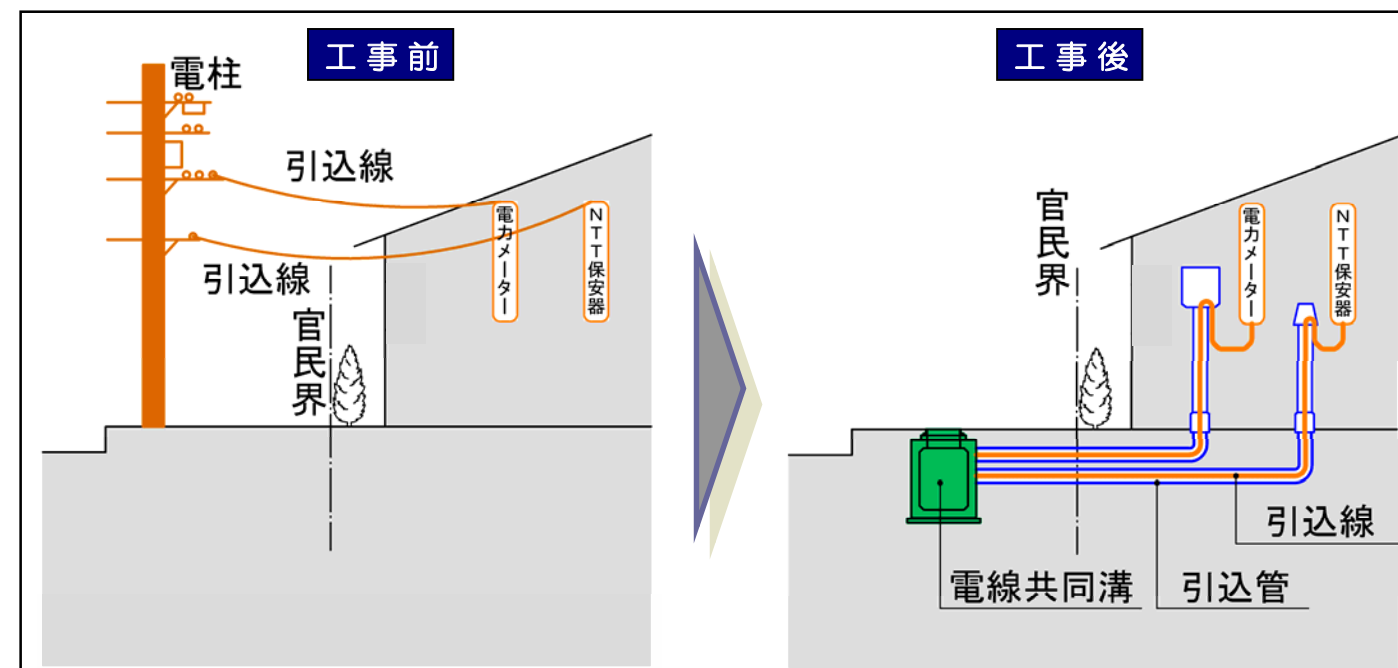
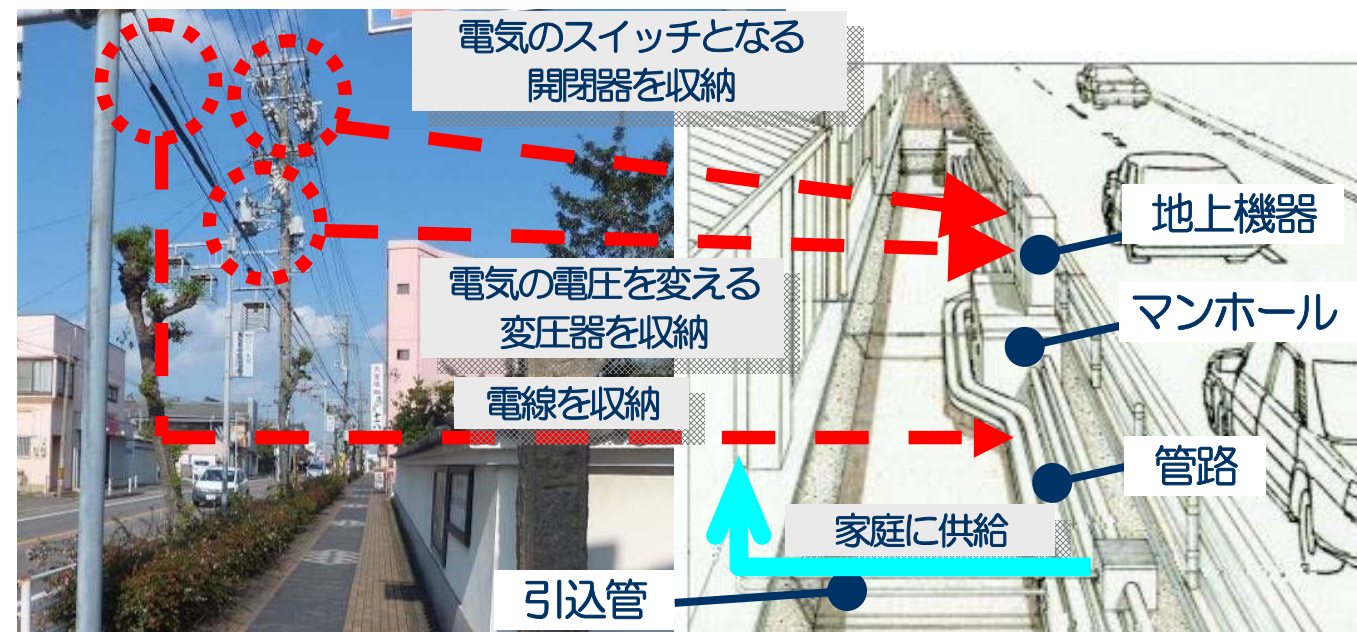
⑤地域活性化

駅周辺や商店街、観光地の魅力を高め地域の活性化に寄与する。

●事業内容

●電線共同溝について

電柱の役割の多くを地下に収納することで電柱・電線を無くします。



●位置図



【整備路線】

主要地方道 岡崎碧南線

↔ (愛知県)	L=155m×2 (両側) =310m
↔ (碧南市)	L=150m×2 (両側) =300m
↔ (愛知県)	L=210m×2 (両側) =420m

整備予定年度 (平成27年度～28年度)

但し、電柱の抜柱、個人宅への電線の引込については、工事終了後、順次電線管理者により行う。

●事業内容

市施工区間起点



湊橋から美術館方面を望む

県施工区間起点



美術館から碧南駅西交差点を望む

市施工区間終点



美術館から湊橋方面を望む

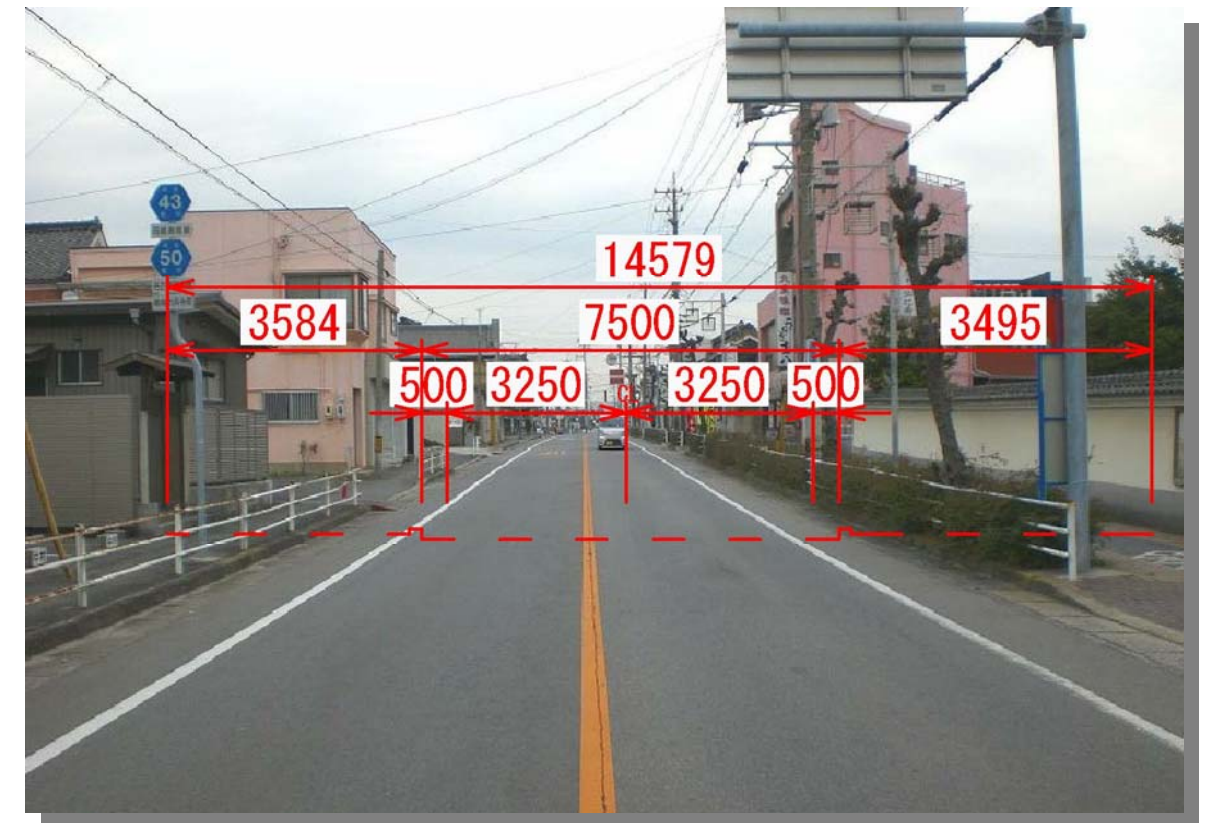
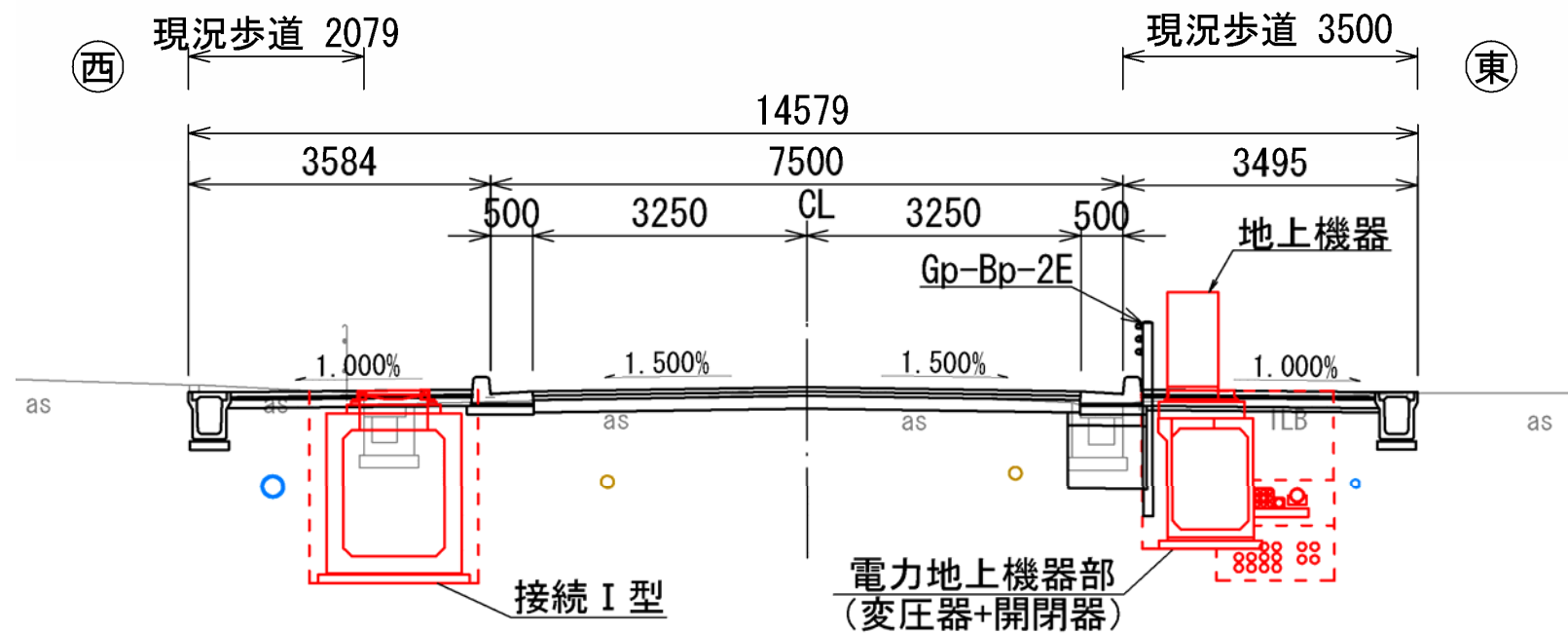
県施工区間終点



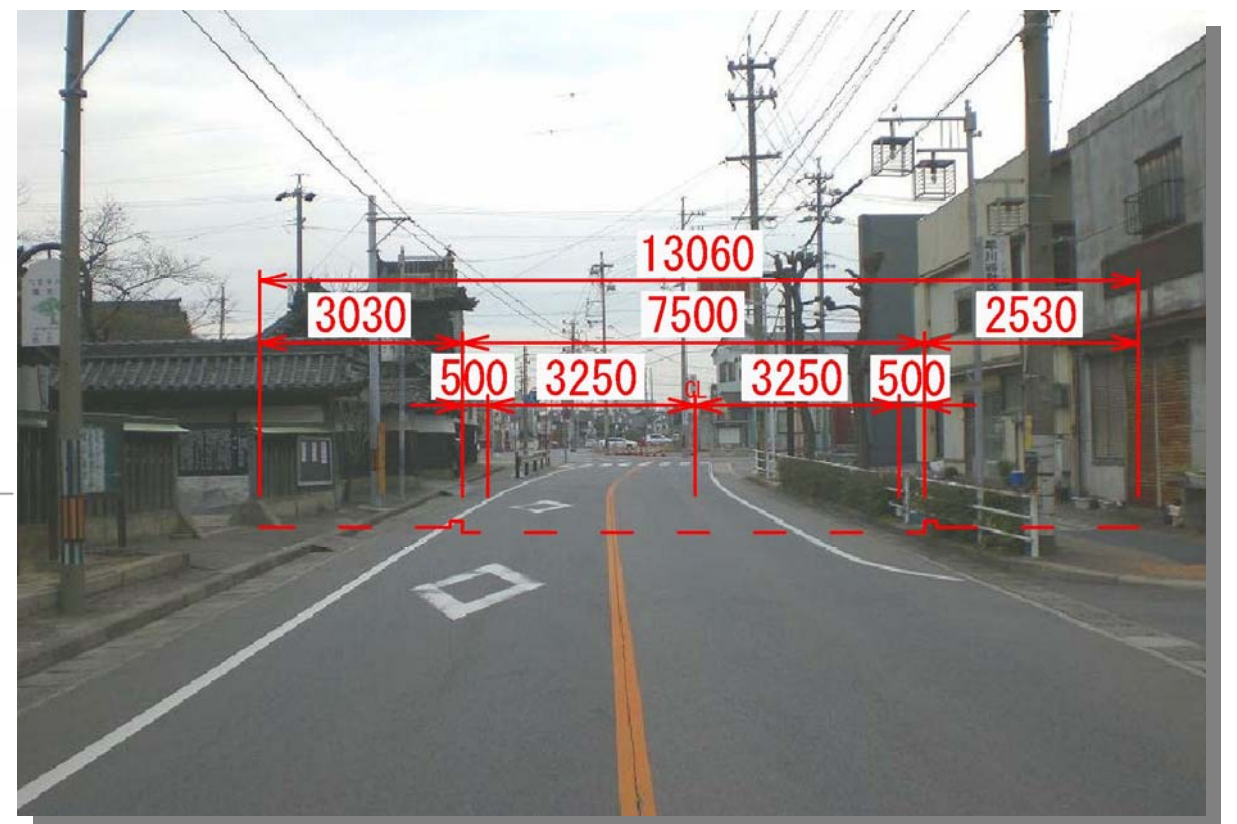
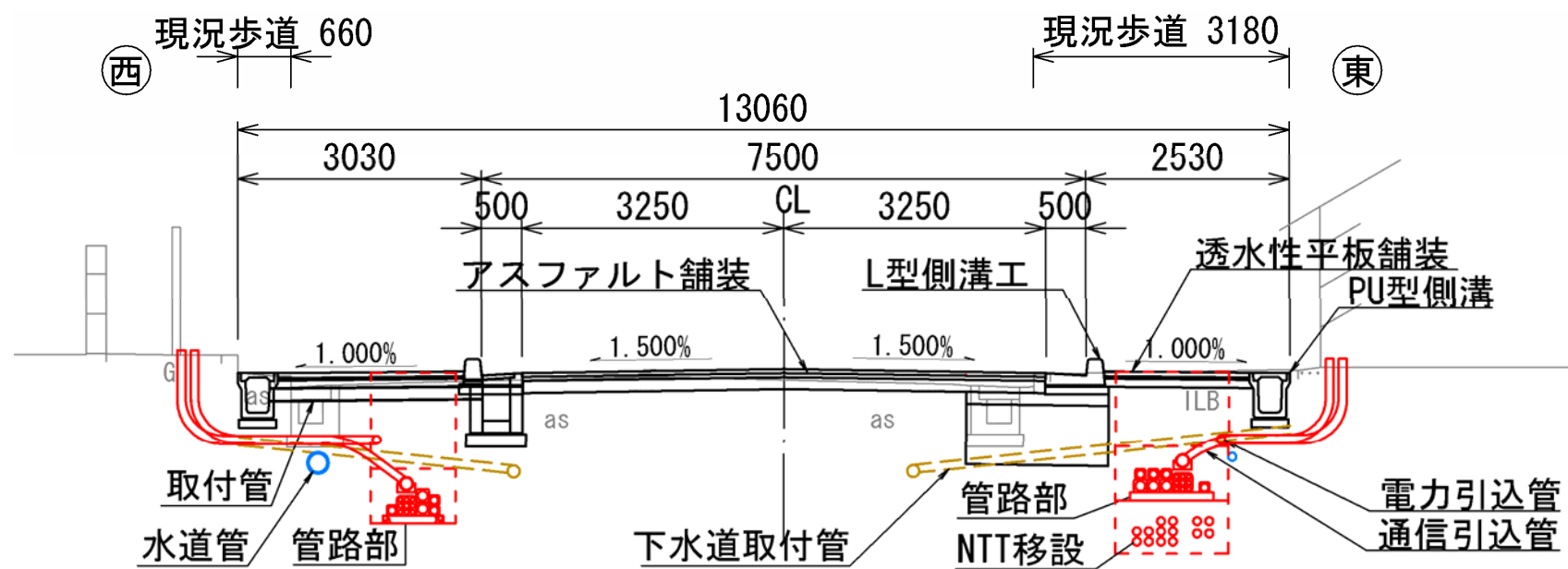
碧南駅西交差点から美術館を望む

●計画概要

●市施工区間 (NO.3+9.0)

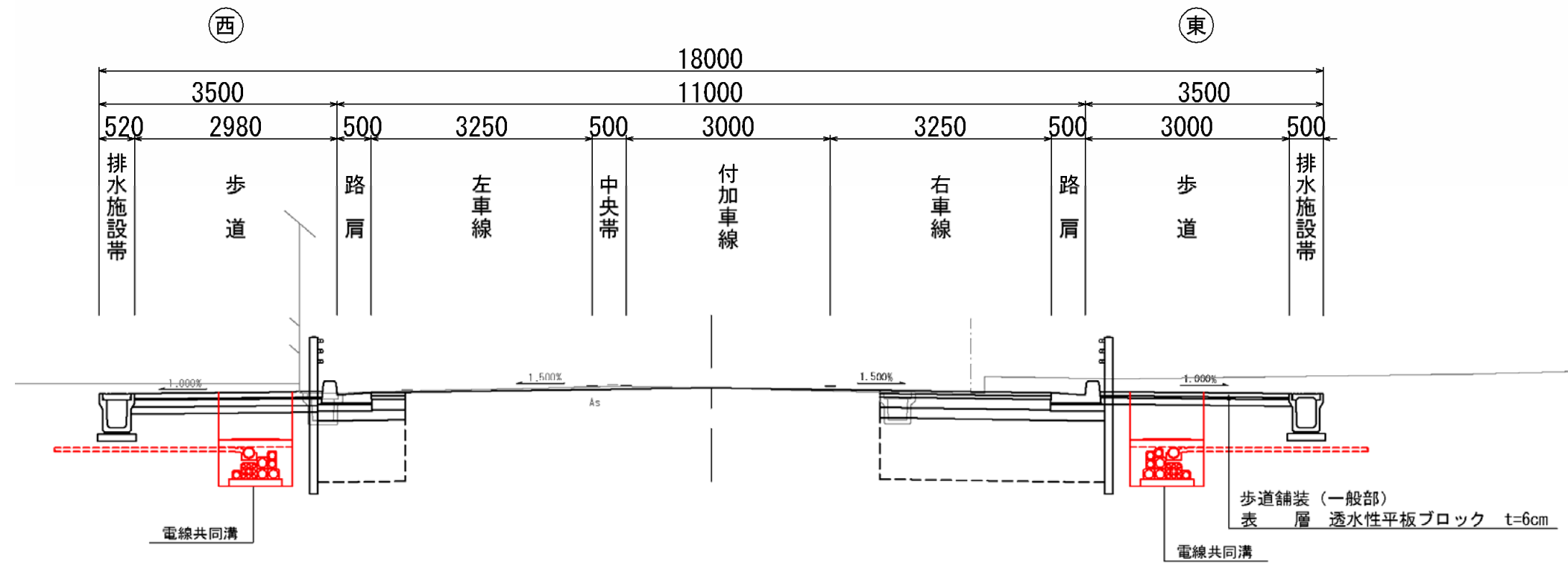


●市施工区間 (NO.8)



●計画概要

●県施工区間 (NO.11)



●県施工区間 (NO.11)

